

「富山労働福祉協議会」設立総会及び記念講演

ボルファートとやま 琥水において
15時30分より



富山県労働者福祉事業協会の下に補助金特別会計事業を掌る機関として、「富山労働福祉協議会」を4月17日、ボルファートとやま琥水に約50名の出席者で設立しました。

富山県労働者の社会的地位の向上のため、地域における福祉事業全般に寄与することを目的に、行政からの補助金と労福協の助成金で労働者の生活応援、生活設計などサポートに関する事業、保健、文化・スポーツに関する事業、福祉・ボランティア活動に関する事業など公益性を高めた事業を推進することが確認されました。

今年度の活動としては、クレ・サラ（多重者金融）の金利引下げを求める運動、災害ボランティア講座などの事業計画を確認し、役員として協議会議長に安東 誠（連合富山事務局長）、副議長に宮川泰明（北陸労金富山県副本部長）、地域連絡会と福祉事業団体から幹事、労福協役職員が事務局長を選出しました。

総会では、「いまなぜ、地域運動のきようかなのか」をテーマに高橋 均（連合富山本部副事務局長）から記念講演を受けました。